

# 2015年度 事業報告書

2015年4月1日から2016年3月31日まで

特定非営利活動法人森づくりフォーラム

## 1 事業の成果

「森林と市民を結ぶ全国の集い2015 in福島」を通じて、福島県の団体とのネットワークを構築し、2016年東京開催に向けた準備を始めました。また、昨年度より発足した森林社会学研究会の連続講座「森から人へ 人から森へ」を開始し、林野庁補助事業として「森林づくり活動団体への実態調査」を行い、全国の森林づくり活動団体等とのネットワークも拡大しました。

## 2 事業の実施に関する事項

事業名	内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
機関紙「森づくりフォーラム」の発行	機関紙「森づくりフォーラム」の発行	4月～3月	東京	2人	2,500人	775
メールマガジンの発行	森づくり・森林・林業に関する情報の発信(月2回)	4月～3月	東京	2人	19,944人	0
森林社会学研究会創設準備	森林社会学研究会の発足、連続講座シリーズを企画。計3回実施。	4月～3月	東京	3人	231人	1,166
市民・子どものための森林・環境教育総合講座	お日の森くらぶ協力で、駒木野国有林でイベント実施。また、6月20日に子どもたちの森林教育に関するシンポジウムを行った。	4月～3月	東京	3人	109人	889
森林づくり活動についての実態調査	林野庁補助事業「新たな木材需要創出総合プロジェクト事業」の枠で行った事業。全国の森林づくり活動団体に向けアンケート調査を実施した。	4月～3月	東京	3人	3005人	2,841
森林と市民を結ぶ全国の集い	シンポジウム「2014森林と市民を結ぶ全国の集いin福島」開催をサポート。16年度東京開催の準備を進めた。	6月～3月	東京	4人	170人	1,061
グリーンボランティア保険業務	グリーンボランティア保険の窓口業務	4月～3月	全国	2人	54,158人	1,428
フォレスト21「さがみの森」	フォレスト21「さがみの森」の管理作業	4月～3月	神奈川	1人	326人	1,384

多摩の森・ 大自然塾	森林ボランティア講座、 体験講座	4月～3月	東京	3人	640人	2,067
プルデンシ ヤル生命保 険寄附選定	プルデンシャル生命保険 のE約款移行に伴う寄附 金。その寄附先団体の選 定及び振込業務。	4月～3月	東京	2人	58団体	100
企業の森づ くり	東京都花粉の少ない森づ くり参画企業の社員向け 森林整備研修及びイベン トの実施	4月～3月	東京	2人	200人	454
木下沢溪 谷・冒険の 森	八王子市高尾山の木下沢 にて森林整備・管理作業	4月～3月	東京	2人	134人	1,170
その他	森林環境教育・山村振興 映像祭の協力	4月～3月	東京	2人	60人	0

## I. 事業に関する事項

### 1. 森林社会学研究会事業

[助成事業]

実施期間	2015年4月～2016年3月
実施場所	本会事務所、文京シビックセンター、全水道会館ほか
主担当者	原田、松井、宮本
従事者の人数	3名
受益対象者の範囲及び人数	231名（下記企画委員会、講座参加者の総数）
会議等の実施日時・人数	・5/30 第2回企画委員会 場所：文京シビックセンター 人数：12名 ・5/31 第1回連続講座 場所：文京シビックセンター 人数：71名 ・10/3 第3回企画委員会 場所：文京シビックセンター 人数：7名 ・10/3 第2回連続講座 場所：文京シビックセンター 人数：38名 ・11/8 第3回連続講座 場所：全水道会館 人数：41名 ・3/6 第4回連続講座 場所：東京大学弥生講堂アネックス 人数：62名
概要	森林社会学研究会 企画委員会が中心となって運営を進め、連続講座「森から人へ 人から森へ」を開始した。企画委員会を計2回、講座を「ソーシャルビジネス」「バイオマス」「森林市民活動」等をテーマに計4回実施した。

### 2. ネットワークに関する事業

#### (1) 森林と市民を結ぶ全国の集い

[協力事業・助成事業]

実施期間	2015年4月～2016年3月
実施場所	フォレストパークあだたらほか
主担当者	鹿住、中沢、原田、宮本
従事者の人数	4名
受益対象者の範囲及び人数	170名（下記福島開催の参加者と幹事会・実行委員会の参加者総数）
会議等の実施日時・人数	・6/12～14 森林と市民を結ぶ全国の集い in 福島 場所：フォレストパークあだたらほか 人数：109名 ・8/12 「森林と市民を結ぶ全国の集い」幹事会 場所：国土緑化推進機構 人数：6名 ・「2016森林と市民を結ぶ全国の集い in 東京」実行委員会 11/9 第1回 場所：文京シビックセンター 人数：16名 12/4 第2回 場所：文京区男女平等センター 人数：8名 1/19 第3回 場所：文京シビックセンター 人数：11名 2/10 第4回 場所：文京シビックセンター 人数：10名 3/9 第5回 会場：TKP市ヶ谷 会議室 人数：10名
概要	2015年6月12日～14日に福島県内で開催。現地の実行委員会に参加し、東京事務局として運営をサポートした。なお、前回の東京開催の流れから、若い世代と福島の団体がつながるきっかけをつくることができた。また、次回東京開催に向け実行委員会を立ち上げ、準備を進めた。

#### (2) 森林づくり活動についての実態調査

[補助事業]

実施期間	2015年4月～2016年3月
実施場所	本会事務所、東京大学弥生講堂アネックスほか
主担当者	石山、久保田、宮本
従事者の人数	3名
受益対象者の範囲及び人数	調査票 発送団体数：3,005 回答団体数：1,232
会議等の実施日時・人数	・8/11 第1回検討委員会 場所：文京区男女平等センター 人数：11名 ・2/9 第2回検討委員会 場所：文京シビックセンター 人数：12名 ・3/6 第4回連続講座 場所：東京大学弥生講堂アネックス 人数：62名（※再掲）
概要	林野庁補助事業「新たな木材需要創出総合プロジェクト事業、地域材利用促進のうち木づかい・森林づくり活動の全国的な展開」の枠で行った事業。全国の森林づくり活動団体に向けアンケート調査を実施した。検討委員会を2回行い、調査票の作成・発送、回答結果の集計、分析を行った。3月6日には集計結果のフィードバックとして、連続講座「森から人へ 人から森へ」を実施した。2016年3月に集計結果をWEB上で公表した。

**(3) 森づくり団体の意見交換会**

[自主事業]

実施期間	2015年4月～2016年3月
実施場所	本会事務所ほか
主担当者	石山、鹿住、松井、宮本
従事者の人数	4名
会議等の実施日時・人数	・7/18 東京都農林水産振興財団 人数：5名 ・2/29 大学生協杉並会館 人数：10名
概要	森林づくり活動団体とのネットワーク構築を図るため、まずは東京都農林水産振興財団との意見交換会を実施した。

**(4) 第3回 森林環境教育・山村振興映像祭**

[協力事業]

実施期間	2015年4月～2015年9月
実施場所	本会事務所ほか
主担当者	中沢、宮本
従事者の人数	2名
会議等の実施日時・人数	5/27 第3回映像祭授賞式 場所：木材・合板博物館 人数：60名
概要	自然・森林教育会が主催する、森林環境教育や森林ボランティアなどに関わる映像コンクールの事務局運営の補助を行った。

**(5) プルデンシャル生命保険による寄付事業**

[受託事業]

実施期間	2015年4月～2015年10月
実施場所	本会事務所ほか
主担当者	久保田、宮本
従事者の人数	2名
受益対象者の範囲及び人数	58団体
会議等の実施日時・人数	10/24 「青梅の森」にて森林ボランティア活動
概要	昨年度に引き続き実施、寄付金総額は15,432,629円でうち森づくり活動団体向け11,418,885円、被災地支援分4,014,055円となり、昨年度より1,726,719円増額となった。7月に各団体の活動報告を取りまとめ、プルデンシャル社に提出した。9月初旬に各団体への寄附金送金を行った。10月以降に領収書等をまとめてプルデンシャル社に提出した。また、西多摩自然フォーラムの協力の元、10月に「青梅の森」でのプルデンシャル社員の森林ボランティア活動の受け入れを行った。

**3. 人材育成の事業****(1) 市民・子どものための森林・環境教育総合講座**

[助成事業]

実施期間	2015年6月8日
実施場所	東京都八王子市西浅川町
主担当者	松井
従事者の人数	1名
受益対象者の範囲及び人数	29名
概要	お日の森くらぶの協力で駒木野国有林、お日の森で子どもたちに森で楽しんでもらい、森林環境学習を行った。

**(2) 森林・環境教育総合講座シンポジウム**

[助成事業]

実施期間	2015年4月～2016年3月
実施場所	本会事務所、文京シビックセンターほか
主担当者	石山、松井、宮本
従事者の人数	3名
受益対象者の範囲及び人数	80名
会議等の実施日時・人数	・6/20 シンポジウム「～野外活動・森林体験活動において子どもの安全を考える～ 野外活動で子どものケガを未然に防ぐには？」文京シビックセンター 80名

概要	「子どもの森林教育推進事業」の一環事業。6月20日に夏休み前の野外教育活動での子どもの安全を考えるシンポジウムを開催した。
----	---

#### 4. 森林ボランティア活動支援の事業

##### (1) グリーンボランティア保険業務

[自主事業]

実施期間	2015年4月～2016年3月
実施場所	本会事務所
主担当者	久保田、宮本
従事者の人数	2名
受益対象者の範囲及び人数	以下表を参照
概要	活動団体が利用しやすい制度への改善を図り、グリーンボランティア保険の普及に努め、登録団体数が増加した。損害賠償責任部分における一活動の最低保険料を引き下げる交渉を行った結果、2016年度より500円値下げの1500円となった。

##### <登録団体数>

前年度	新規登録	退会・未更新	今年度	前年度比
412	80	△32	460	112%

##### <件数> (2015年3月～2015年11月末までの実績)

	第一種		第二種		合計	
	前年度比 (%)		前年度比 (%)		前年度比 (%)	
保険利用件数	1,681	164	1,773	169	3,454	167
保険利用人数	20,891	92	8,870	111	54,158	102
保険料	1,576,944	114	4,466,261	134	6,043,205	-
事故件数	21	90	5	30	38	136

##### (2) 森林ボランティア安全対策の提言

[自主事業]

実施期間	2015年4月～2016年3月
実施場所	本会事務所
主担当者	久保田、宮本
従事者の人数	2名
概要	「北海道森と緑の会」に保険事故事例の資料を提供した。また機関誌で安全対策記事の連載を開始し、安全対策への喚起を継続的に行った。

#### 5. フィールド事業

##### (1) フォレスト21「さがみの森」

[助成事業]

実施期間	2015年4月～2016年3月 (月2回定例活動、月1回連絡協議会)
実施場所	仙洞寺山国有林「さがみの森」19.28ha (神奈川県相模原市緑区青山)
主担当者	宮本
従事者の人数	1名
受益対象者の範囲及び人数	326名
会議等の実施日時・人数	1. 定例活動 (毎月第二土曜、第四日曜開催) 計23回 人数: 275名 2. イベント ・10/25 まち・みどり公社企画小学生森林体験イベント 場所: 現地 人数: 51名 3. 会議 ・7/11相模原森づくり団体意見交換会 場所: 宮ヶ瀬やまなみセンター 参加 ・2/13さがみはら生物多様性ネットワーク設立総会 場所: 相模原市民会館 参加
概要	市民参加による森林の総合利活用におけるモデルフォレストと位置づけ、東京神奈川森林管理署や国土緑化推進機構等と協議し、月1回の連絡協議会、月2回の定例活動を実施した。10月25日に相模原市まち・みどり公社の体験イベントを企画、Facebook やメールマガジンでの活動告知等を

	通じて、活動参加者数は昨年度比で 51 名増加した。
--	----------------------------

(2) 多摩の森・大自然塾 森林ボランティア講座 [受託事業]

実施期間	2015 年 6 月～2016 年 3 月
実施場所	東京都奥多摩町鳩ノ巣
主担当者	松井
従事者の人数	1 名
受益対象者の範囲及び人数	162 名
会議等の実施日時・人数	・6/6基礎講座1 人数:24名 7/11基礎講座2 人数:22名 8/8基礎講座3 人数:19名 9/12基礎講座4 人数:22名 11/14応用実践講座1 人数:20名 12/12応用実践講座2 人数:20名 1/12応用実践講座 人数:19名 2/13応用実践講座 人数:19名
概要	森林ボランティアの底辺拡大と指導者等の育成の講座。6 月から 2 月まで基礎講座 4 回、応用・実践講座 4 回を森林インストラクター東京会の協力により実施した。

(3) 多摩の森・大自然塾 体験講座 [自主事業]

実施期間	2015 年 4 月～2016 年 3 月												
実施場所	東京都奥多摩町鳩ノ巣												
主担当者	松井、鹿住												
従事者の人数	2 名												
受益対象者の範囲及び人数	478 名												
会議等の実施日時・人数	日時	4/19	5/17	6/21	7/19	8/16	9/20	10/1	11/1	12/2	1/17	2/21	3/20
	人数	46名	52名	44名	32名	29名	37名	33名	33名	43名	33名	43名	53名
概要	コープみらいと BESS フォレストクラブ、林野庁の森林の多面的機能発揮交付金の支援のもと、JUON (樹恩) NETWORK とともに毎月第 3 日曜日に開催した。												

(4) 企業の森 [受託事業]

実施期間	2015 年 4 月～2016 年 3 月												
実施場所	東京都青梅市 3 箇所、あきる野市 1 箇所												
主担当者	久保田、宮本												
従事者の人数	2 名												
受益対象者の範囲及び人数	200 名												
会議等の実施日時・人数	5/23 いなげや (青梅市) 人数:100名 6/13 リコーロジスティクス (青梅市) 人数:48名 7/ 4 美しい多摩川フォーラム (青梅市) 人数:27名 9/26 新宿区の森 (あきる野市) 人数:24名												
概要	西多摩自然フォーラム、森林インストラクター東京会、花咲き村等との協力により実施した。												

(5) 木下沢溪谷冒険の森 [助成事業]

実施期間	2015 年 7 月～2016 年 3 月												
実施場所	東京都八王子市裏高尾町												
主担当者	松井、樋口												
従事者の人数	2 名												
受益対象者の範囲及び人数	134 名												
会議等の実施日時・人数	日時	7/26	8/23	9/27	10/25	11/22	12/27	1/24	2/28	3/27			
	人数	23名	12名	18名	23名	9名	16名	6名	16名	11名			
概要	国土緑化推進機構、八王子市などと 2014 年から準備し 2015 年 7 月より活動を開始した。												

II. 総務に関する事項

## 1. 会議

- (1) 第16回通常総会 2015年5月31日  
 (2) 第32回定期理事会 2015年5月30日  
 第33回定期理事会 2015年11月8日  
 (3) 運営委員会 2015年4月17日、5月11日、6月8日、7月3日、  
 7月13日、8月11日、9月14日、10月2日、  
 11月9日、12月8日  
 2016年1月19日、2月23日、3月24日  
 (4) 広報委員会 ※当面の間運営委員会と併催

## 2. 会員の拡大

実施期間	2015年4月～2016年3月
実施場所	本会事務所・主催及び関連イベント
主担当者	運営委員会及び事務局
従事者の人数	7名
受益対象者の範囲及び人数	リーフレット作成部数：1万部 会員数は以下推移表を参照。
概要	森づくりフォーラムのリーフレットを作成し、会員、シンポジウム参加者などに配付した。機関紙内容をアップデートし内容を充実させた。また各事業を通じた新規入会への働きかけに努めた。

### 会員数の推移(2016年3月31日現在)

	前年度 会員数	新規 会員数	退会 会員数	今年度 会員数
個人正会員	119	3	5	117
個人賛助会員	80	1	6	75
個人会員計	199	4	11	192
団体正会員	58	8	1	65
団体賛助会員	3	0	0	3
団体会員計	61	8	1	68

## 2. 機関誌『森づくりフォーラム』の発行

実施期間	発行回数4回(春季4月、夏季7月、秋季10月、冬季1月)
実施場所	本会事務所
主担当者	中沢、松井、村田
従事者の人数	3名
受益対象者の範囲及び人数	延べ2,500名(会員及び情報提供先600部×3回、700部×1回)
概要	現行の年4回(季刊)発行体制を継続した。団体会員の紹介や、安全対策に関する連載記事、森林社会学研究会の取組に関する連載記事を掲載するなど、会員に向けた情報発信をより一層強化した。

## 3. メールマガジン『森フォ通信』の発行

実施期間	発行回数24回(月2回)
実施場所	本会事務所
主担当者	中沢、宮本
従事者の人数	2名
受益対象者の範囲及び人数	831名
概要	現行の月2回(概ね1日と15日)発行体制を継続した。ホームページやフェイスブックにて継続的な告知、ボランティア保険登録団体のメールアドレスなどを追加登録した結果、読者数が117名増加した。

## 4. ホームページ、フェイスブックによる情報発信

### (1) ホームページの更新

実施期間	2015年4月～2016年3月
実施場所	本会事務所
主担当者	中沢、松井、宮本
従事者の人数	3名
受益対象者の範囲及び人数	延べ12,000アクセス（閲覧件数平均1,000回/月）
概要	本会の情報や協力団体・関係団体のイベント・シンポジウム情報を中心に随時情報提供を行い、「お知らせ」「イベント」「講座」「活動報告」「メールマガジン発行」等の情報を適宜更新した。また2015年12月よりHPリニューアルに向けた準備を始めた。

### (2) フェイスブック

実施期間	2015年4月～2016年3月
実施場所	本会事務所
主担当者	中沢、松井、宮本
従事者の人数	3名
受益対象者の範囲及び人数	約1,500名
概要	記事を掲載できるタイムライン上に、メールマガジンの配信告知、シンポジウムなどのイベント告知などの情報提供を行った。結果、フェイスブックページへの「いいね！」は600件増加した。

## 5. 各種委員会への出席

- ・ 森林の多面的機能発揮交付金東京都・埼玉県・神奈川県ブロック企画委員会(5/12、3/16 松井)
- ・ 森林活動で子どもの安全を考えるQ&Aテキスト 検討委員会(6/29 石山・松井)
- ・ 「森林と市民を結ぶ全国の集い」全国幹事会(8/12 鹿住・中沢・原田)
- ・ 森づくり安全技術・技能全国推進協議会 理事会・総会(8/31、1/13 松井)
- ・ 東京都 緑の募金 運営協議会(9/8、2/8 松井)
- ・ 東京都花粉の少ない森づくり運動推進委員会幹事会(12/15 久保田)
- ・ 東京都森林審議会(12/16 久保田)
- ・ 東京都花粉の少ない森づくり運動推進委員会(1/22 久保田)
- ・ セブン-イレブン環境財団 助成専門審査会(2/19 原田)

## Ⅲ. 事務局体制

- <常務理事> [非常勤]  
鹿住 貴之 認定NPO法人JUON(樹恩)NETWORK
- <理事> [非常勤]  
松井 一郎
- <事務局職員>  
宮本 至 [常勤]  
中沢 和彦 [非常勤]  
村田 央 [非常勤]  
樋口 満里 [非常勤]

## Ⅳ. 運営委員会体制

首都圏在住の理事を中心として構成し、原則毎月1回程度、必要な事項を協議する。構成メンバーは、上記理事、事務局常勤職員のほか次のとおり。

- <副代表理事>  
原田 敏之 愛知生態系ネットワーク協議会
- <理事>



久保田繁男 西多摩自然フォーラム  
<理事>  
石山 恵子 遊学の道 Project  
<事務局職員>  
中沢 和彦